

明照会

大正7年9月19日創立

第160号

令和2年2月20日

社会福祉法人上田明照会

しょうぶこくど しょうじゆじゆじょう
浄仏国土 成就衆生

(法人設立理念)

ニュース

平成15年4月7日創刊

2019年度上田明照会事例発表会

「上田市母子寮」「ともいきライフ住吉」

令和2年1月31日開催

利用者さんの幸せを考える取り組み

今年度で第4回目を迎える法人事例発表会は、利用者(児)さんの「幸せ」を考えるため、

より支援者のスキルをレベルアップさせてくれる会として開催されます。計画 → 実行 → 評価 → 改善 を繰り返す「PDCAサイクル」を意識した実践道場と言えます。「幸せ」とは？十人十色で、難しいことではありますが、私たち支援者が考える原点です。

毎年度、各事業所で主に困難ケースを事例に取り上げ、対象となる利用者(児)さんに関心を寄せ「どんな人生を歩んできたのか」を知ることから始まります。時には、息詰まる事もあり、法人内外より助言者をお招きし、客観的視点でより専門的に助言をしていただくケースもあります。各事業所の取り組みを冊子としてまとめ、それぞれの職員に個々に読み込んで

もらい、もっと知りたい内容を推薦し、推薦が多い今回の2事業所が選ばれ事例報告会を行いました。



事例発表会は、次の4つの言葉がキーポイントになると私は考えています。

1. 利用者さんの変化(家族の変化)
2. チーム支援力向上(地域連携体制)
3. 法人内外で人と繋がる(知り合う)
4. 継続する仕組み作り

実践なくしては、次なる展開は生まれません。利用者(児)さんから、学ぶ姿勢で取組む姿勢を大切にしています。



明照会は、児童から高齢者等、幅広い事業展開をしている法人です。種別は違いますが他の事業所を知る良い機会として、さらに一つでも自分の智慧として実践現場に活かされることを願っています。

人は、一人で生きていけません。明照会にある「共生=ともいき」、助け合っていけるチームで在りたいと思います。

上田明照会の理念「浄仏国土=社会環境の浄化」「成就衆生=円満な人格の形成」を目指し、福祉のプロとして日々「諦めないチーム支援」を心がけ精進して参ります。

ありがとうございました。
(人材育成研修委員 白鳥)



事業所紹介

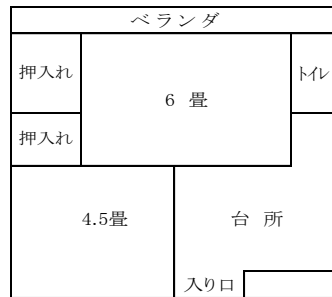
事業所紹介 上田市母子寮



平成12年に上田市の委託を受け、管理運営を担当して19年が経過しました。生活課題等支援を必要とする母子家庭（世帯）に、育ちと癒しの支援を通して「社会で生きようとする力」の回復が図れるようお手伝いをさせて頂いています。



居室平面図



<概要>

定員：20世帯
貸与品：家電製品 家財
構造：鉄筋鉄骨
コンクリート3階建て



過去に上田明照会の副会長を務めて頂いた小笠原光三さんが経営する『百余亭・香庵』に子ども達を招待して頂きお茶会を体験しました。子ども達からは「緊張したけど楽しかった」「また行きたい」という声がたくさん聞こえてきました。



ご招待ありがとうございました。



事業所紹介 相談支援センターほっと

(障害児相談支援・特定相談支援) 上田市中央 5-9-29

本人中心の支援計画(パーソンセンタードプランニング)のもと、利用者の可能性の実現、社会参加、参画、活動におけるインクルーシブな社会を目指す相談支援の在り方を模索しつつ、その方の健康を目指した計画が求められています。

つまり、私たち相談支援員が利用者ひとり一人の声に耳を傾け、本人の思いがきちんと反映出来るように計画を作成することが大きな目標になっています。そのため私たちは、絶えず利用者の声に耳を傾けていかなければなりません。そんなすばらしい関係になれば良いなといつも思っています。



事業所紹介 上田明照会グループホーム



平成3年4月に上田明照会グループホームを設置しました。

平成20年にケアホーム和を開設し、制度改正により介護サービス包括型指定共同生活援助として定員6名の利用者さんが生活をされています。



《上田明照会グループホーム重点目標》

- ① グループホームが心安らぐ場所であるよう、人間関係の調整に力を注ぐ。
- ② 健康推進のため、介護予防等の考え方を取り入れ支援に活かしていく。
- ③ 地域とのふれあいによる生活の充実感を得るために、行事等の地域参加をより前進させていく。
- ④ 防火・防災・防犯における地域との連携を構築していく。

《主な支援サービス》

食事支援・金銭管理・健康管理・相談及び助言記録の整備・入浴支援・家族との連絡調整や地域との交流・法人事業所との連携・夜間の連絡体制・行政との連携をしています。



発行者 社会福祉法人 上田明照会

味遊カフェのご紹介

味遊カフェは、2012年9月にともいき宝池和順の自主生産活動の一環としてオープンしました。2012年以前より珈琲の自家焙煎、クッキー製造作業を行っており、それらをより多くのお客様に楽しんで頂き、また利用者の皆さんと地域の皆さんのふれあいの場になればという思いから、カフェスペースのオープンに至りました。



春先の味遊カフェ

味遊カフェではオープン当初よりハンドドリップした珈琲などのドリンク、ロールケーキやチーズケーキなどの手作りケーキを中心にお客様にお出ししています。2013年からはランチメニューも加わり、ルウから手作りしているカレーや、季節の野菜のキッシュなどを日替わりで提供しています。店頭ではクッキーや珈琲豆を販売し、クリスマスやバレンタインなどのイベントの時期には、限定のギフトセットなども販売しています。

また、上田市内や青木村の道の駅などでもクッキーや珈琲豆を委託販売したり、外部イベントでの販売も行っています。



<作業内容>

味遊カフェでは「カフェ作業」、「クッキー作業」、「珈琲作業」の3つの作業を並行して行っています。利用者の皆さんにはシフト表に沿って、毎日配置換えをし、色々な作業をして頂いています。

● カフェ作業

カフェ作業では、朝の店舗内の掃除に始まり、開店前の準備としてテーブル拭きやメニュー表の準備、ランチのサラダの準備、アイスコーヒーのドリップなど行っています。

開店後は接客を中心に、オーダーされたメニューに応じてトレーや食器の準備をし、食器や調理器具の洗い物を行います。



笑顔で接客!



洗い物大忙

● クッキー作業

クッキー作業では、利用者の皆さんは午前中にクッキーの生地作りから成形までの作業を行い、午後には午前中に職員が焼いたクッキーを袋詰めしていく作業を中心に行っています。

この他にも、くるみクッキーの絞りから焼き上げる作業や、焼菓子やカフェのスイーツ・パンなどの材料の計量、パンの成形、キッシュ生地を麺棒で伸ばし、型に敷きこむ作業などを行っています。

● 珈琲作業

珈琲作業では、珈琲の生豆選別を中心に作業を行っています。その他にブレンドの配合、お客様の注文に応じたコーヒー豆の袋詰め、コーヒー袋のシール貼りをしたり、委託先に納品するための準備を行ったりもしています。



珈琲を密封します



丁寧にシール貼り



クッキーの生地作り



クッキーの袋詰め



味遊カフェの主な作業をご紹介しましたが、この他にも、メニューの黒板書きやPOP作り、パッケージや印刷物で使用する絵を描いてもらうこともあります。



特技を生かして



皆さんの作品を使用した珈琲パッケージシール

味遊の商品づくり、店づくりには、味遊が利用者の皆さんにとってより輝き活躍できる場所になるにはどうすればよいか模索していくことが根幹としてあります。利用者の皆さんには、どんな小さなことでも自分が味遊に参加しているという気持ちになってもらい、それをやりがいや誇りにつなげてもらえたらと思っています。

また、ご来店頂いたお客様にご満足いただき、また次も足を運んで頂けるよう、丁寧でより質の高い商品づくりを心掛けています。

今後は今以上に利用者の皆さんが中心となる商品づくり、店づくりを目指し、お客様と利用者の皆さんが互いに過ごしやすく、もっとふれあいがもてる味遊カフェにしていきたいと考えています。



利用者の皆さんには、それぞれの個性に合わせ様々な作業をして頂いています。オープンからこの8年間の積み重ねで皆それぞれ、色々なことが出来るようになりました。ここからは利用者の皆さんの作業の内容をご紹介します。

味遊カフェ(miyu cafe) Facebook ページ
 所在地：長野県上田市中央北 2-7-3 QR コード
 電話：0268-27-6633(代表)
 メール：miyu@ueda-meishoukai.or.jp
 Facebook ページ：「味遊カフェ/miyu cafe」